
日の傾いた教室で。

冬蜜柑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日の傾いた教室で。

【Nコード】

N8850H

【作者名】

冬蜜柑

【あらすじ】

あたしとあなたは幼馴染み。お互いに彼氏、彼女が出来たってお構い無し。それまで通り、よく二人きりで話してた。

(前書き)

はじめまして、冬蜜柑と申します。

今回は初めての投稿と言うことで、とても短く甘く話を書かせていただきました。

文章を書く力はまだまだですが、よろしく願います！

あたしとあなたは幼馴染み。

お互いに彼氏、彼女が出来たってお構い無し。それまで通り、よく二人きりで話してた。

とんとんとん。

心地好いテンポで聴こえる音で意識が現実に戻ってくる。

シャープペンスルの先っぽがノートの上で跳ねてる光景が頭に浮かぶ。

見なくてもわかる、あなたのクセ。きっとまた、なんか悩み事。

……まったくしょうがないなあ。

あたしは机に伏せていた顔を少し持ち上げた。

「少年、またまた悩み事かね？」

するとあなたは少し驚いた顔をした。

「起きてたんだ」

「とんとんうるくて起きちゃったのよ」

伸びをしながらわざとらしく言うのと、あなたはチラリと、解きかけの数式が広がるノートと左手に持ったシャープペンスルを見て、やけに大人びた苦笑。……なんかムカつく。

「……で、何悩んでんの？」

あたしは少しそっけなくもう一度尋ねた。

「んー……」

しかしあなたの返事はあまりよろしくない。誤魔化すように、視線を夕日で赤く染まった教室に散らす。

言わない気かと思ったけど、あなたは落書きされた黒板の隅を

みながら口を開いた。

「いやさ、実は明日彼女の誕生日で。何したら喜ぶのかなあと」

その言葉に、一瞬思わず呆けてしまった。しかしだんだん笑い込みあげてくる。

「……それってさ、前日に言うことじゃないよね」

意地悪な顔でそう言ってやると、あなたはむっと顔をしかめた。「だって思い付かないんだもん。今日まで考えてて思い付かなかったから相談してんの」

そう言うあなたはさっきとは反対に妙に子どもっぽい。そうそう、そっちの方が好き。

「まったくしょうがないなあ。あたしも一緒に考えるよ」

「……うん」

「なら——、午前0時ちょっぴりにお祝いメールとか？」

「……ベタすぎじゃない？」

「あら、ベタだからこそ女の子は嬉しくなるものよ」

「んー、よく分かんない」

「じゃあ——、夜景が綺麗なとっておきの場所に連れていくとか！」

「そもそもそんな場所知らない」

「……あそ。そしたら——、手作り料理を作っであげる！とかは？」

「俺が料理の才能無いのしってるだろ」

「えー」

案を出してあげてるのに、ことごとく却下とは……。なんか嫌になってきた。ええい、やけっぱちだ。

「ならいつもよりたっぷりの愛を込めて、キスでもしてあげたら！」
早口でそう言うと、てっきり呆れると思っていたあなたは、意外にも真面目な顔でなるほど呟いた。

その様子に軽く目を見張っていると——

気付けば彼の顔が目の前にあり、唇同士がいつもより優しく、でもしっかりと重なり合っていた。……まったく素直なヤツ。

「……誕生日、明日なんだけど」

しばらくして唇が離れると、あたしは軽くあなたを睨んで呟く。
「だいたいさ、本人にそんな相談するなんてどうかしてる」

「本人に訊くのが一番確かだと思わない？」

「…あ、わかった！ キスはもうしてくれたから、当日はもつとビ
ツグなサプライズを用意してるんだ！ へえーふうん」

「ちょっ……それズルイって！！」

あたしとあなたは幼馴染み。

お互いに彼氏、彼女が出来たってお構い無し。それまで通り、
よく二人きりで話してた。

そしたらいつの間にか二人とも愛想つかされちゃって。

なんだかんだで結局はあたしとあなたで恋人してる。

でもきつとこれで良かった。

あなたの隣ほど、私が安心出来る場所はありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8850h/>

日の傾いた教室で。

2010年10月23日01時52分発行